

羽尾山 1月

阿須那公民館だより



新年あけましておめでとーございませす。
本年もよろしくお願ひ申し上げませす。

令和3年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、日本選手の活躍が私たちに元氣と勇氣をくれました。これまで最高の金メダルの数でした。この快挙に、多くの子どもたちが夢を見続け目標に向かって頑張っていくのを、私たち大人は見守りながら精いっぱい応援していきませしよう。

年末年始ごろから新型コロナウイルスの「オミクロン株」が全国・世界中に拡大しており、第6波にはいりませした。また驚異の感染力で、一気に広がることか予想され、外出や飲食など私たちの日常生活に制限がかかろうとしていませす。どうかお体には充分氣をつけていただき、健康な日々をお過ごしください。

さて令和4年の寅年がスタートしませした。トラは「低くかがみ少しづつ獲物に近づき、自分より大きな動物でも仕留める」ような恐ろしいイメージが有ませす。でも、どんな動物でも母と子の関係は同じで、わが子を愛おしく包みこみ命がけで守ろうとする姿は、トラも同じです。トラのように地域の課題にじねんに喰いつき、誰もが「阿須那に住んで



でえかったのう」と思えるような活動をしたと思ひませすので、今年も阿須那公民館をよろしくお願ひいたしませす。

阿須那公民館 職員一同

R 4. 1. 17 発行
阿須那公民館
TEL:0855-88-0001
FAX:0855-88-0002
I P:050-5207-6000

「門松づくり」で 歳神様をお迎え

阿須那公民館の門松は、毎年数が増えて、今回は7対分を用意しませした。毎年真竹を用意し、「松・梅・白南天・赤南天・葉牡丹」を飾り、コモで巻いて完成です。真竹の切り方では、笑って見えるように節を斜めにすることや、高さを調整するなどを考えると、たくさんの竹を準備するので、毎回大変な作業となります。

次回からは、作り手を多くして皆で笑顔の正月を迎えられるようにしよと思ひませすので、よろしくお願ひしませす。早くも年末のお願ひをすと「鬼が笑う」でしょうが、「鬼でも笑う良い年」を迎えられる➡縁起がいい事ということで、笑ってください。



雪田サロン 正月用 生け花教室 開催

毎年恒例の「正月用生け花教室」を雪田サロンでは行って、今回も細貝佐美子さんを講師に、雪田サロンの皆さんが参加しませした。用意した材料に加え、家の周辺にある木や花を持ってくる方もいて、みんなで交換しながら作品を完成させませした。良いお正月を迎えられることしよ。



R3.12.31現在	世帯数 (戸)	男性	女性	合計
阿須那地域 (昨年比)	315 (-11)	294 (-17)	341 (-12)	635 (-29)
口羽地域	335	316	353	669
羽須美地域	650	610	694	1,304
邑南町	4,767	4,860	5,334	10,194

特集「阿須那郵便局」と「年賀状」 あんな事・こんな事ありました

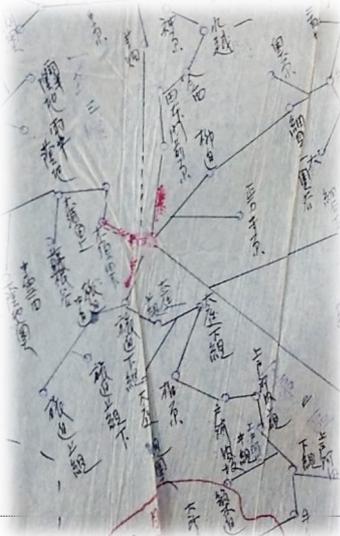
令和4年1月の特集として 阿須那郵便局と年賀状について紹介します。

阿須那地区にある「阿須那郵便局」は明治45年6月21日に開局し、今年で満111歳で、当時の建物は(株)池月酒造の建物として現存しています。昨年には公民館で阿須那郵便局の昔の写真を展示したこともありましたね。左の写真は阿須那郵便局開局のお祝いの様子で、「郵便局」が地域の情報伝達の本拠地として大切であったかを知る貴重な写真です。



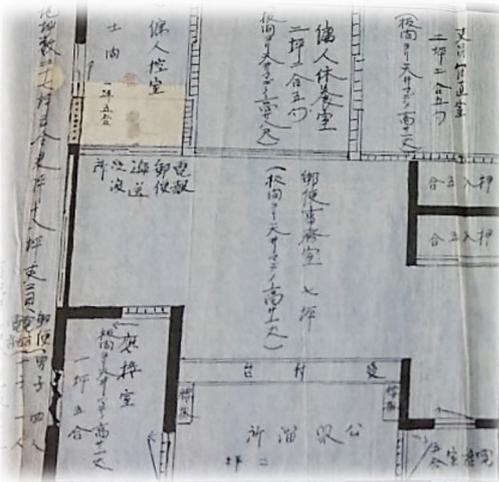
▲阿須那郵便局開局時のお祝い
通りではたくさんの住民が喜んでいる様子

ところで年賀状はいつから始まったのでしょうか？色々調べたところ、平安時代にさかのぼるほど古い時代に封書で年始の挨拶をしていたという記録もあるそうです。しかし今のようになんか飛行機があるわけでもないのに、何か月もかけて届いたと思われまふ。よって、年賀状が正月三が日に届くことはなく、季節外れに届くのは当然です。阿須那郵便局の小田局長からお話を聞いたり資料を見させていただけると、年賀特別郵便としては、明治37年12月末に出したものが1月1日に届くようになってたそうです。



右の地図は、配達をする際の地図
(手描き)で、配達順や担当区域の

設定など、今では通らない道もあつたろうと思います。雪の多い日などは、歩いて配達することは普通で、郵便が届くのは夕方のこともあつたそうです。



また当時の図面もありました。これは現在の池月酒造が郵便局であった頃の平面図で、受付台は当時のまかもしれません。

その平面図を見て池月に行ってみると、そのままの様子が見えます。

また阿須那郵便局の年賀状の配達について、阿須那郵便局に勤めておられた井上齊さん(門前)から驚くような面白い話を聞きました。(下の写真はS52年ごろ)



昭和43年頃、年末に年賀状を仕分けして誰がどこを配るかを分け、自宅にもって帰り、除夜の鐘とともに配達をスタートさせていた。それは昭和50年オイルショックのころまで続いた。深夜に配達をするので、あやまって田んぼに落ちたこともあつた。

そこから仕分けも機械になり、そのせいで郵便番号が違っていたら戻ってきたりすることもあつた。今ではパソコンが主流だが、昔は200枚くらいの年賀状を全て手書きで書いていた。ハガキサイズの木彫りのスタンプみたいなものも作ることもあり、一つ一つ丁寧に作られていたので、もらった方は温かい気持ちになっていたに違いない。

段々と、配達数が減っている「年賀状」ですが、元旦の朝、郵便バイクの音が「ブルブルブル」と聞こえて「キュッ」と止まる音に、「あつ！年賀状がきた」と我れ先にポストに行く家族・・・いくつになっても年賀状を待つ嬉しさは変わらず、送る主の名前を読み上げるたびに、一枚の葉書から元気な様子を知ることが出来ます。次のページ下には、年賀状に関する情報を掲載しました。

脳トレチャレンジ!

新しい年になりました。よりんさい家でのご意見を参考にして、今回からクイズの答えは翌月ではなく、今月に掲載しようと思います。

問題1 寅年クイズ

- ①今年3連休がたくさんあるゴールデンウィークだそう。一年に何回三連休があるでしょうか?
- ②虎は虎でも平たく薄い虎は?
- ③「鬼に金棒」と同じ意味で「虎に何?」というでしょうか?

問題3 トラ・トラ・トラクイズ

「虎」・「寅」・「彪」という漢字で、下の①～③の文章はどの漢字が当てはまるでしょうか?お考えください。

- ①しま模様のこと
- ②12支の三番目のとら
- ③とらの皮の模様
- ④ネコ科の大型哺乳類

先月の答え
問題1 ⑮ 問題2 ①A ②A ③B

問題2 虎に関する生きものクイズ

虎という字が使われる魚や海の動物です。何と読みますか?

- ①魚虎

ハ					ン
---	--	--	--	--	---
- ②虎魚

	コ	
--	---	--
- ③雨虎

	メ			
--	---	--	--	--
- ④狛虎

		コ
--	--	---
- ⑤蝦虎魚

ハ	
---	--

★よりんさい家でたくさんの年賀状

「よりんさい家」では昨年の終わり、参加者の皆さんに「年賀状」を書いてもらいました。新年のスタートとなる1/7(金)に一齐に公開。宛名は「み～んな」に送る年賀状なので、たくさん年賀状をもらった気分になりました。



★阿須那郵便局 小田局長のプチ情報

①「プーさん」シリーズの年賀ハガキの謎

プーさんバージョンの切手の部分を、よ～く見てください。絵柄、今年はトラですね。昨年の雪だるまの牛から出てきたのが「虎」!このプーさんシリーズには物語があり、続いているそうです。また、切手部分やその下のマークにも、プーさんが隠れています。探してみてください。但し、大きな虫眼鏡が必要なくらい小さいです・・・。



②再利用 (SDGs)

印刷ミスや失敗したハガキは、手数料を払えば、「切手」もしくは「はがき」に交換できます。廃棄しないで郵便局に持ってきてくださいね。



おすすめ図書コーナー

「機嫌よくいられる台所」家の光協会



この本は、料理上手、段どり上手の6人の方のマイルールがのっています。日頃、家事をしていて感じる「小さなストレス」がこの本を読むことで少し解決できるかもしれません。全て取り入れることは難しいかもしれませんが、自分にできそうなことから実践してみませんか?私は個人的には「冷凍庫の在庫はメモしておく」と「肉と魚は塩と酒で洗う」というマイルールが気に入りました。

R4. 1~2

阿須那地区カレンダー

移動 図書 よりん さい家 可燃ミ プラスチック パットボトル 容器包装紙 資源ミ 不燃ミ 粗大ミ

※

可燃ごみ PET 紙 資 不燃 粗大

日	月	火	水	木	金	土
16	17	18	19	20	21	22
					よ	
23	24	25	26	27	28	29
	戸	3B体操	阿・宇・雪			
30	31	1	2	3	4	5
			町校長会		よ	
6	7	8	9	10	11	12
		クラフ教室	瑞穂ライオンズクラブ		建国記念の日	花まる算数教室 阿須那婦人会
					よ	
13	14	15	16	17	18	19
	手芸教室					むらの保健室
					よ	
20	21	22	23	24	25	26
	戸	阿・宇・雪	天皇誕生日			
					よ	
27	28	このカレンダーに自分の予定を入れて活用してください。また発行時点での行事のため、変更や中止、記載のない場合もありますのでご了承ください。				

----- 切り取り線 -----

主事のつぶやき

昨年のオリパラについて、思うことがあるので書いてみます。メダルをとったり活躍した選手とは違い、期待され注目を浴び、大会前からメディアに取材されたりした選手が1回戦で敗れたりメダルに届かなかったこともあり。どれほどの緊張感と周囲の重圧、大きなプレッシャーを体と心に受け、どれだけ悔しかったのかと思い、色んな場面において、コンマ0秒の一瞬そのものが人生に繋がっていくのだと感じました。

その崖っぷちから未来の自分を描き頑張ろうとする選手の姿をテレビなどで見ると、心の金メダルをあげたくなります。選手たちの時計（未来）は止まらず前へ進んでいく。後ろ（過去）を振り返っても時は変わらないのであるからこそ、背中を押してもらう前に、自分が変わるんだということを自分自身で決断する勇気……。そのことから私たちも選手たちのように一瞬の未来に向かって、元気に笑顔で過ごしていきたいですね。



今月のクイズの答え

- 問題1①9回 ②トランプ ③翼
 問題2①ハリセンボン ②オコゼ
 ③アメフラシ ④ラッコ ⑤ハゼ
 問題3①彪 ②寅 ③彪 ④虎